レンサルティング®で時代を拓く

AKTIO Communication Magazine

May
No.34

AKTIO

■ AKTIO TOPICS

新商品レンタルのご紹介

- 電動バックホー「TB20e」
- 発電機搭載「LED投光機6灯式」
- AKTIOオリジナル「アクティオ AIボイス」
- 「巻上ワイヤ破断防止装置」付クローラクレーン

橋形・天井クレーンの製造・修理・レンタル事業を拡充

■ AKTIO ACTIVITIES

小学生向けイベント「アクティオ ATC ECO EXPO」初開催

■ meets AKTIO

AKTIOで活躍する女性社員のご紹介

特集

自然災害の多い日本を支える AKTIOの災害対応"力"

AKTIOの災害対応"力"

自然災害の多い日本を支えるため、AKTIOだからこその備えや、団結力をすべての地域へ。

日本は、地震や台風、火山噴火などの自然災害が多発する国。
歴史的に地域社会が助け合う文化があるものの、近年、単独の自治体や組織では対応しきれない大規模災害が増加。
そして阪神・淡路大震災では復興過程において行政と民間企業の協力、他地域からの支援など災害協定の重要性が改めて全国に認識された。
AKTIOは全国各地456の自治体と災害協定を結んでいる（2025年3月末時点）。
自然災害発生時に、迅速に建設機械や資材を提供し、被災地の復旧・復興を支援する、地域社会へ貢献することに積極的に取り組んできた。
そこで今回は2024年1月1日に発生した能登半島地震での対応を軸に、AKTIOの災害発生時の体制についてお伝えする。

現地災害対策本部が設置され、前線で対応にあたった金沢湊営業所にて

能登半島地震発災当初のAKTIOの動き

- 2024 1/1 **石川県能登地方を震源として最大震度7の地震が発生**
  - 社員の安否確認
  - 能登地域にいた社員から電話で状況の確認
- 1/2 **AKTIO本社↔金沢湊営業所で災害対策会議を実施**
  - 金沢市内在住の社員が帰省先や旅行先から参集
  - 金沢湊営業所と高岡営業所、富山工場に人員を配置し、社内連絡網を確立
  - 災害協定先の津幡町と高岡市に仮設トイレを搬入
- 1/3 **金沢湊営業所に現地災害対策本部を設置**
  - 本社に災害対策本部を設置
  - 突発対応に応えるべく、災害支援体制にシフト
- 1/6 **社長による現地視察**
  - 先読みして商品の購入を指示
  - ヤードの確保に向け関係各所に申し入れ

AKTIOだからこそできた能登半島地震、奥能登豪雨災害の対応

主要メンバーに聞く、当時のこと

能登半島地震、AKTIOの対応

―能登半島地震発生当時のことを教えてください

後藤（北信越支社長）　1月1日は休業中でしたので、まずは社員の安全確認を行い、同時に現地の状況確認を行いました。翌日2日には小沼社長をはじめ本社役員とWebで災害対策会議を実施。被災状況・交通情報・災害協定先などの情報を確認し、自治体やお客様からの要望を基に、現地で必要な機械の在庫や搬入トラックなどの確認を行い、不足分を本社で対応することなどを決めました。また、3日には金沢湊営業所に災害対策本部を設置し、すぐさま災害支援体制にシフト。お客様からの突発対応も始めました。阪神・淡路大震災以降、社内体制が整備されていることが私たちAKTIOの強みです。私自身は災害対応に携わるのは初めてでしたが、本社・支社・現地の役割が明確化されており、スピーディに対応できたと感じています。

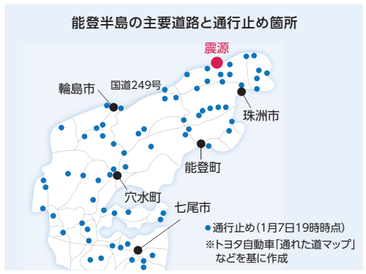
執行役員 北信越支社長
後藤 津義

高松（金沢湊営業所長）　前線基地となった金沢湊営業所は2023年12月に開設したばかりで当時社員は5名でした。電話や問い合わせ、これまで取引のなかった会社からも多くの連絡が来る中、北陸内の営業所からすぐに応援が駆けつけてくれ、さらに全国から社員が集まり最大31名で対応しました。機材に関しては、これまでの災害対応の経験から、現地が要望する前に本社で必要なものをピックアップし、全国の主要工場が一斉に整備、1～2日で北陸まで供給できる手配を整えてくれました。

1月3日　金沢湊営業所に能登地震災害対策本部設置

しかしせっかく機械が集まっても、国道・県道の42路線87か所が通行止めとなり、通常は金沢から1時間半で着く穴水町まで6～7時間かかる状態。穴水町からさらに輪島市へ向かえばプラス3～4時間かかってしまう。それでも運送業者やドライバーの方々の情報共有の輪に加わり、どのルートなら配送可能か試行錯誤しながら、必死でお客様からの依頼に応えました。本来なら営業所長として現地に向かい、地元企業や自治体の皆様の声を聴く立場であると承知していましたが、そこは支社の方にお願いし、とにかく被災地へ機材を早急に届けることに専念しました。

金沢湊営業所長
兼 金沢営業所長
高松 陽介



―震災発生時はどのような機械のニーズがあったのでしょうか

近藤（北陸支店長）　ライトバン、連絡車です。現地で本当に必要なものは何か、重機の大きさはどの程度なら入れるのか、お客様がそのようなことを把握するための現地調査用の連絡車は、これまでの災害時の経験から想定していた台数を超える依頼がありました。その後、インフラ整備を行う作業者の宿泊・業務スペースとしての「寝泊まりできる車両」「仮設事務所として使用できる車両」「通信手段の確保」が求められました。当社が得意とするオフグリッドカーが重宝され、貢献できたという手応えを感じました。

北陸支店長
近藤 照彦

太田（北信越支社 営業部専門部長）　仮設住宅を建てるために必要な発電機やフォークリフト、小さめのポータブル発電機、足場系の資材、照明機器なども需要があり、さまざまな依頼に丁寧に対応していきました。広

地震に続き豪雨災害、地域のためにできることとは

Ⅰ9月には奥能登豪雨も発生しました。対応はどのようなものでしたか

近藤　1月の地震からようやく道路などの復旧が進んできたところで土砂崩れや河川の氾濫が起き、地震の被災者向けの仮設住宅団地も輪島・珠洲両市の計6か所で床上浸水がありました。地域住民にとって精神的にもダメージの大きい被害です。AKTIOは7月に石川県と災害協定を締結しており、もしもまた災害が起きても迅速に対応できる状況が整ったところでしたので、豪雨災害発生当日の夕方には直接自治体から仮設トイレ300棟の依頼がありました。ただ、発災が土曜日で休業中の企業が多く、まずは150棟を水害発生から2日後に納入。石川県内だけでは集められなかったため、以前から付き合いのあった新潟県のメーカーに依頼し、足りない部分を補いました。他にも軽トラなどのレンタルや、要請された備品（防災グッズ）の販売などを行いました。

災害協定とは

災害発生時に迅速かつ効果的に対応するため、自治体と民間企業と関係機関で結ばれる「災害時応援協定」のこと。緊急時の役割分担や連携方法をあらかじめ明確化することで、混乱を防ぐ。

太田　災害協定を直接取り交わしたのは石川県の危機対策課でしたが、ほかの部署からもボランティア団体への支給物資の相談がありました。災害協定ではレンタル機材の要請対象が車両、重機、仮設トイレとなっているのですが、最初に依頼が来たのがタワシ・クワ・カマといった「一般家庭の玄関周りの片付けに必要なものの手配でした。通常AKTIOでは取扱いのない消耗物資の要請には戸惑いましたが、ノウハウがない中、なんとか対応しました。県庁としても、どこに依頼したらいいのかわからない、そんな時に当社に相談してくれたことがありがたかったです。

また、ボランティア団体への支給場所へ直接物資を運ぶことがあり、ボランティアの方々と接した際にはその想いに触れ、胸にくるものがありました。

被災地の復旧・復興に向けて、AKTIOが目指すこと

Ⅰ今回、過去の災害対応が生かされた点を教えてください

近藤　AKTIOは、阪神・淡路大震災以降、多くの激甚災害を経験したことで、いつ・何を・どのような手順でやるべきか、社内体制が整備されています。今回も、本社・支社・現地が連携し、他支社からの人員公募、応援手当の支給、機械供給の対応について、スムーズに機能し、迅速な対応ができました。他社が1月5日から対応を開始した中、当社は1月2日から活動を開始しました。改めて、AKTIOの機動力と団結力を強く感じました。

また今回は、災害協定の重要性を再認識しました。自治体やお客様各社からそれぞれ依頼があると重複の可能性もあり確認作業に時間がかかり、対応に遅れが生じます。情報、要請の迅速さも我々の対応のスピードアップにつながりました。

Ⅰ復興に対する想いを聞かせてください

高松　お客様からの要請に応えられたときの、〝ありがとう！〟の一言に、今まで私自身が感じたことのない重みを感じました。また、社員がガソリンスタンドで「AKTIOさん、現場でよく見るよ！ありがとう」と声をかけられたこともありました。被災地の皆様はもちろん、復旧工事に携わる皆様も本当に困っている。私達の仕事が微力ながらお役に立っていることがとても励みになっています。これからも、地域の人たちに寄り添った仕事をしたいと切に思います。

本年3月には能登出張所を開設し、発電機や高圧洗浄機、水中ポンプなど、今までよりも幅広く現地対応ができるようになりました。より現場の要望にスピーディに応え、サービスを向上できるよう、所員と共にポジティブに仕事に向き合っていきたいと思っています。

後藤　今回、啓開工事を行うゼネコン各社様との連携だけでなく、これまでご縁のなかった地元・地域のお客様へも機械を提供することができました。自治体の要請にも対応し避難所への資機材搬入、応急活動の実施、多様な分野でAKTIOが貢献できたことを実感しています。

今後は、トイレカーや移動用ハウス、衛星通信機器、蓄電池等の災害対応に欠かせない商品をパッケージ化しラインナップしたいと考えています。また、BCP拠点として災害時でも事業を継続できる体制を構築すること、災害協定を通じて平時からの合同訓練などの提案も行い、今以上に迅速な対応ができるよう体制を整えていきます。

新設された能登出張所

輪島市まで24分、珠洲市まで46分と大幅に移動時間の削減が可能に

北信越支社
営業部 営業専門部長
太田 健

Ⅰ対応を進める中で特に苦労した点・注力した点を教えてください

後藤　金沢市内から物資を配送するのに1日がかりになってしまう状況下で、自治体、自衛隊、ゼネコン、地元企業からの要請に対応するには、現地での基地の確保が急務でした。能登地区には営業所もなかったため、ゼロスタート状態。現地に入った際、小沼社長をはじめ当社役員がレンタル協会でお付き合いのある地場レンタル企業へ働きかけ、使用していないヤードをお借りすることができました。また、能登エリアには、地元の建設会社と密接なレンタル業者が複数ありましたが、その業者の方々自身も被災されておりました。そこで我々が機械を提供し、その企業から地元建設業者、解体業者へと機械が供給されるという流れに。非常事態で、とにかく早い復旧を目指し、同業他社とも連携することができました。

さらに、もう二つの問題であった機械トラブル対応のために、地元企業である里谷組さんが営む「ゴーゴーカレーのと里山空港前スタジアム」の駐車場をヤードとしてお借りしました。ここにはフロント※1名、出張修理に長けた業務員4名が待機し、修理業者の手配や金沢から修理に向かう時間のロスを解消し、機械トラブル対応を行うことが可能になりました。

※フロント…お客様のご注文に対する最適な商品選定や効率的な運送管理、機械運用を主とする営業拠点の窓口

地域の人たちと、復旧から復興へ

株式会社 里谷組　**里谷 光蔵**さま

自宅と会社のある輪島市は壊滅的な被害を受け、携帯もつながらないため社員の安否確認もままならない状況が続きました。10日目くらいから徐々に会社で業務を始め、できる限りの復旧作業に当たりましたが、電気も水も復旧しないままだったため経済活動はほぼ止まり、2月末くらいまでは会社や車で寝泊まりしていました。追い打ちをかけるように豪雨災害も発生し、心が折れる思いでした。今もまだ全然生活は戻っておらず、道のりは長いと感じますが、「自分たちがやらずに誰がやる」と、地域の仲間と共に奮起しています。

この地域では地元企業との付き合いが深く、AKTIOのような広域レンタル企業とのお取引はありませんでした。今回、知人を通して当グループ会社の飲食店の駐車場を貸してほしいという依頼があり、そこで初めて社名を知りました。どこよりも最初に依頼いただいたのでAKTIOにお貸しし、それがきっかけで機械も借りるようになりました。今は、地元の会社に機械を借りたくても「ない」んです。こんな状況だからこちらも無理も言えません。でもAKTIOの場合は「ないとは絶対、言いません」と引き受けてくれる。だから気兼ねせず、手元になければ探してきて！とお願いできます。復旧は進んだものの、〝復興〟とはいえない状態です。AKTIOには今後も継続して、その時々に必要なものを臨機応変に対応していただきたいなと思っています。

私たちが体験したことを、今後の災害対策の力に。

復旧・復興を支える若手社員の声

地元のあたたかみを、業務を通じて改めて感じる

金沢湊営業所 業務主事
片矢 修太

当日は、祖母の住む能登の家にいて被災しました。避難所生活をしながら、現地の様子を会社に報告をするつもりでしたが、心身ともにダメージが大きく、思うように動けませんでした。

私は機械の整備などを行う業務職なので、直接地域の人と接することはありませんが、修理などでお付き合いのある会社の方々が金沢湊営業所が被災地へ機械を貸し出してくれることがあります。直接言葉にしなくてもそういう時に地域の連携や、被災地への共通した思いを感じます。豪雨の時には、震災の時よりもきつい状況になるのではないかと感じました。大量の重機を出庫し、返却されてきた重機を整備してまた出庫する。この繰り返しですが、重機を扱える人は限られているので、対応者の得意な部分を見極めて効率よく回せるように努めました。金沢湊営業所は皆コミュニケーション能力が高く、楽しく仕事ができています。これから周囲の営業所と地場の業者、みんなと連携して石川県を盛り上げられるようがんばっていきたいです。

これからも続く能登の復興を、陰ながら支えたい

金沢湊営業所 フロント
本田 有紀

鳥取の実家に帰省していたものの、被害が心配で早めに金沢へ戻りました。当時は金沢白山営業所勤務でしたが、1月4日に金沢湊営業所の応援に行くと、ひっきりなしに電話がかかってきました。さまざまな企業からの問い合わせや、社内からの取引会社に関する確認など、とにかくものすごい量でした。とても大変でしたが、そこで感じたのは当社の対応力のすごさ。フロントである私たちが機械が足りないと声を上げると、すぐに本社に連絡が入り、全国の営業所も繁忙期で機械がない中、なんとか用意し、出庫してくれました。グループ会社の協力も本当に心強かったです。

特に需要が高かったのは、フォーク付き解体用バックホーやクローラダンプ、豪雨後はダンプや軽トラ、ワッシャーとポリタンクのセットなどです。ニーズが集中し、在庫が逼迫する中で本社との連携を図ることや、所内の在庫状況・修理完了のタイミングを見極め、限られた機械を最大限に活用するための調整に注力しました。

この経験を通じ、お客様と現場、本社をつなぐフロント業務の重要性を再認識しました。今後も営業所の司令塔であるフロントとして、誰かの目標となれるよう精進したいと思います。

感謝の気持ちを忘れず、人として成長したい

金沢湊営業所 フロント
荒木 胤生

被災地のための仕事がしたいと思っていたところ、2024年1月中旬に金沢白山営業所から金沢湊営業所への異動が決まりました。今は配車業務をメインに行っています。当初は機械が用意できても道路が崩壊していて現地に届けられない、歯痒い思いがありました。休みの日に輪島市に行ってみると、ボランティアの方が活動する姿や、倒壊した自宅で思い出の品を探す地域の人を目の当たりにし、改めて復興を後押しできるように、自分もがんばろうと思いました。

ドライバーから情報を得て配車をうまく組んでいくこともできるようになり、豪雨が起きた時は土砂崩れの影響で林業機械が多く出て、これまで自分が見たことがない機械を勉強するきっかけにもなりました。今、この営業所が成り立っているのは他の営業所、事業部、工場、グループ会社、運送会社等の協力会社があってこそ。周囲への感謝の気持ちを絶対に忘れず、困った人がいたら迷わず助け、人から頼られるような人間に成長したいと思っています。

信頼できる仲間と、地域のためにまっすぐ進む

金沢湊営業所 営業主査
岡山 拓也

震災翌日、地元業者の対応が必要だろうと考え、当時所属していた金沢白山営業所に出勤しました。私は穴水町出身で、実家も全壊してしまい、何かしないといられない気持ちでした。その後、地元である能登の復旧・復興に貢献したいとの思いで、震災対応の最前線である金沢湊営業所へ異動しました。

それから現在まで、ただひたすら「能登地域のお役に立ちたい、貢献したい」という思いを胸に、日々震災対応に取り組んでいます。これは単なる職務としてではなく「機械が不足し、作業が進まない地域の皆様を少しでも支えたい」という切なる願いからです。その心で取り組むうち、結果として多くのお客様とお取引させてもらえることになりました。豪雨災害の後も困難な状況は続きましたが、信頼できる若手フロントスタッフの存在は大きな支えとなり、多忙な中でも安心して業務を任せることができています。

今回の災害を通じて、AKTIOのネットワークの強さを改めて感じました。これからも地元、能登のために邁進し続けたいと思います。

※フロント…お客様のご注文に対する最適な商品選定や効率的な運送管理、機械運用を主とする営業拠点の窓口

災害時に活躍する商品のご紹介

災害時でも、寝泊まりできる環境を作り作業も快適に　AKTIOが誇るオフグリッドカー

太陽光パネルと大容量リチウムイオンバッテリーによるオフグリッドシステムを搭載した移動休憩車。エンジン停止後も車内の電化製品や100V電源の使用が可能。

オフィスカー（ハイエース仕様）

災害時に防災拠点として活躍する移動オフィス。エアコンも完備されており、車内で快適に事務作業やミーティングができる。車内は簡単にアレンジが可能で、ソファを倒せば就寝スペースも確保できる。床部分を収納することで車内で立ったまま着替えも可能なポップアップルーフタイプと、広い空間が特長のハイルーフタイプがある。

ポップタップルーフタイプ

ハイルーフタイプ（内装）

レストカー

電気・水の心配が多い被災地で活躍する“移動可能なトイレカー”。水を使わずに臭いや細菌を自動密封する「ラップポン」トイレを搭載。セカンドシート部分には椅子とテーブルをセットしており、最後部がレストルームになっている。レストルームでは、トイレだけでなく、化粧や着替えを行うスペースとしても使用可能。

レストルーム

ラップポントイレ

マイクロバスオフィスカー

最大10名が乗車して移動でき、車内はテーブル2台を設置した「オフィスワークモード」と、後部座席をフラットに展開することで最大2名が就寝できる「休憩・就寝モード」にアレンジ可能。シンクや電子レンジ、ラップポントイレも搭載しており、作業員の休憩や打ち合わせの場としてのほか、緊急時の宿泊にも活用できる。

オフィスワークモード

シンク

安否確認や情報収集、ネットがつながらないと困る時に　Starlink Business

土砂崩れなどで通信会社のアンテナ基地局も被災してしまった場合、携帯電話の不通期間が長くなり、安否確認にも支障が生じる。Starlink Businessがあれば地上波が利用できない地域であっても安定した通信、ネット環境を整えることができる。放送局のBCP対策にも用いられるStarlink Businessはいざという時にも、通常業務の支えにもなる。

Starlink Businessとは

電源があれば、携帯回線や光回線が利用しにくい場所でも、低軌道に打ち上げた多数の次世代型低軌道衛星（LEO）により、高速で安定したインターネット環境を実現する「Starlink」。法人向けに広い帯域を提供する「Starlink Business」は、通信が混雑した状況でも帯域の利用が優先される。

非常時の通信手段の確保はもちろん、復旧・復興工事の現場も後押し

トンネル内 Wi-Fi化

DXツールの使用

現場の省人化

重機遠隔操作

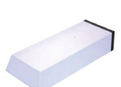
AKTIO がレンタルする Starlink Business 機材

● Starlinkのアンテナ本体

衛星の方向を感知し、自動的に向きを変えるアンテナ。単管マウントを使用し、タワークレーンやハウスの屋根上などに固定することが可能。

専用ルーター

電源ユニット



＋

● Wi-Fiルーター

無線Wi-Fiアクセスポイント

「Starlink Business」の能力を最大限に活かすWi-Fi機器として、AKTIOは「バッファロー屋外用Wi-Fiアクセスポイント」をレンタル展開。防塵防水・耐環境性能をもつ専用設計モデルとなっており、一般的なWi-Fiアクセスポイントでは設置が難しい、直射日光の当たるような屋外にも設置可能で、複数のアクセスポイント同士を無線接続できる「リピーター機能」も装備。

他同梱物：専用電源ケーブル、2ピン変換コネクタ、LANケーブル、イーサネットアダプター、単管マウント

新サービス続々リリース！最新情報はこちら

AKTIOで活躍する女性社員をご紹介します

meets AKTIO

頭の中で作ったものが“現実”になる喜び。ずっと図面で生きていきたい。

プラザ事業部 プラザ制作課 主事　山本　采

【プロフィール】学生時代に建築を学んだ経験を活かし、イベント会場の図面制作を専門で担当。

Q 現在の業務について教えてください。

イベント制作事業を行うプラザ事業部で図面制作をしています。イベント会場でテントをどこに建てるか、ステージをどこに設置するかといったレイアウト図面を描いたり、音楽フェスやスポーツイベントなどの観客席の設計を行ったりしています。新卒で入社して4年間、プラザ事業部の営業としてお客様との打ち合わせ、協力会社の手配や物品の段取りなどを行い、一通りの業務を経験しました。その頃から場合によっては自分で図面を描くこともあり、部内で徐々に分業化が進んだ結果、今は図面制作の専業になりました。

Q どんな案件が多いのですか？

私が担当する案件は屋外現場が多くあります。例えば音楽フェス、ふるさと祭りのようなイベント系、スポーツ系。大きな案件ばかりのように思われがちですが、小規模な地域のお祭りの幅5.4m・奥行き3.6mくらいのステージも制作しています。

イベントの繁忙期が5月から10月にかけてあり、春から秋の終わりごろの時期はとても忙しいです。図面だけではわかりづらいところは設営の立ち合いで修正したり、現場で施工している方の質問にもその場で答えたりします。

Q 担当した案件で印象に残っているのはどんなものでしょうか。

カーリングの試合会場の案件です。吊り物工事もあったので中継のテレビカメラが入るポイントを確認することや、重さや大きさを検討して主催者へ提出する作業を行いました。描いていたものが現実になっている、それを見ると感動がありますね。

別の水泳のイベントでは表彰台の図面を担当したのですが、複雑な構造だったのできちんと形になるか心配でした。現場を見に行くと装飾なども施されてキレイに仕上がっていて安心しましたし、嬉しかったです。

Q やりがいを感じるのはどんな点でしょうか？

「いつも早いね！」と当社の担当営業から声をかけられると嬉しいです。依頼が来たらすぐ返すのが私のモットーで、相談された案件は寝かせません。大学時代に学んだ建築の授業で今の業務で使っているのと同じCADのソフトを扱っていたので、比較的スムーズに仕事でも図面を描くことができました。活かせると思っていなかった学生時代の経験を仕事で発揮できたこともやりがいにつながっていますし、今では図面を描くことが自分の天職だと感じるようになりました。

Q これから叶えたい夢や目標を教えてください。

先輩方が大型案件の図面制作や工事に携わっているのを見て、私もそうなりたいと思っていました。今少しずつそれが叶えられてきて、毎日楽しく仕事ができています。

学生時代から好きだったものづくりの姿勢で現在の業務に向き合い、充実した日々を送ることができています。後輩で図面制作に興味がある人がいたらぜひ教えてあげたいなと思っています。

上長から一言

山本さんは、お客様からの評判が高く、周囲からも信頼される、頼りになる存在です。男性が多い施工現場に物怖じせずに入って行き、指示出しをしている姿はとても頼もしいです。

図面を描ける人材を探していたところ、当時は営業だった山本さんが手を挙げてくれて驚いたことを覚えています。

今では制作課の中心人物であり、事業部になくてはならない存在に成長しました。山本さんの活躍が後輩女性の働きやすさにもつながっており、目標とされる存在として、今後のさらなる活躍を期待しています。

（プラザ事業部　部長　戸張貴彦）

AKTIO TOPICS. 1

商品コード:VFA 070EB 001

国土交通省認定 GX（グリーントランスフォーメーション）建設機械

電動バックホー「TB20e」レンタル開始

商品の詳細はこちら▶

AKTIOは、環境に配慮した株式会社竹内製作所製の電動バックホー「TB20e」のレンタルを開始した。道路の掘削などに使用される「バックホー」は、軽油を燃料としたディーゼルエンジンのものが主流となっているが、「TB20e」はリチウムイオン電池式で排気ガスを排出しないため環境に優しい。また、ディーゼルエンジンタイプと同等のパワーながら、低振動・低騒音なため、周辺環境への影響も抑制できる。この商品は、国土交通省により「GX建設機械」に認定されている。

GX建設機械認定ラベル

NETIS登録番号:KT-220165-A

特長

1. リチウムイオン電池式で、排気ガスが出ないため環境に優しい
2. ディーゼルエンジンタイプのバックホーに比べ、低振動・低騒音のため作業環境にも優しい
3. ディーゼルエンジンタイプのバックホーと変わらないパワーと操作性
4. 1回の充電で最大8時間まで稼働可能
5. ディーゼルエンジンのメンテナンスに必要な費用が不要でランニングコスト削減が可能

AKTIO TOPICS. 2

商品コード:AFZ 6A303

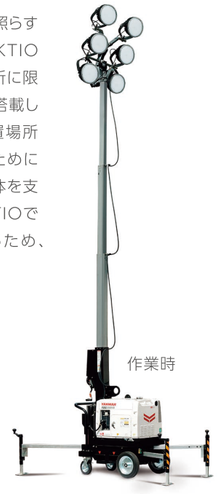
高く、遠く、広く照らせる投光機

発電機搭載「LED投光機6灯式」レンタル開始

商品の詳細はこちら▶

AKTIOは、6.7mの高さから、広範囲を一瞬で明るく照らす「LED投光機6灯式」のレンタルを開始した。従来、AKTIOで取り扱う6灯式の投光機は車両タイプで、使用場所に限りがあった。今回の「LED投光機6灯式」は発電機を搭載したタイヤ付きで、手で押して移動ができるため設置場所の自由度が高く、小回りも利く。また、転倒防止のためにジャッキ式アウトリガーを搭載。4方向に伸ばして車体を支えるため、耐風性にも優れている。照度が高く、AKTIOで取り扱う4灯式投光機の約2倍の照射面積となるため、照明の必要台数が減りコスト削減にもつながる。道路、空港、イベント会場など、さまざまな場所での夜間工事に貢献する。

収縮時



作業時

特長

チルト機能
マストを上げたまま、コントロールパネルで灯具の角度を調整できる

ダブルウィンチ
シングルウィンチの半分の力でマストを伸ばせる

ジャッキ式アウトリガー
4方向に伸ばせるアウトリガーにより耐風性を向上。個別に高さを調整できるので、不整地でも水平を保てる（水平器付き）

ノーパンク大型タイヤ
メンテナンス不要で軽く押せる

キャスター
小回りが利き、狭い場所でも旋回可能

AKTIO TOPICS. 3

商品コード:R6T 12100 001

AIカメラで人物を検知する区画監視注意喚起システム

AKTIOオリジナル「アクティオ AIボイス」レンタル開始

商品の詳細はこちら▶

「アクティオ AIボイス」は、AIカメラで区画を監視し、検知した人に対して注意喚起するシステム。建設現場などの立入禁止区域で人物を検知すると、上部のライトが点灯し、スピーカーから注意を促す音声が流れる。バックホーなどの重機作業エリアや崩落・落石の危険があるエリアへの立入禁止、建設現場の開口部への墜落防止などに効果的なほか、倉庫の防犯対策や現場の出入口の注意喚起など、さまざまなシチュエーションで安全対策が行える。人物を検知した際のシャッター開閉や防犯ライトの点灯など、外部機器や既存設備との連携も可能となっている。

特長

❶スマートフォンやタブレットでエリア設定が簡単に可能
❷人物検知の範囲は0.5m～30m　※条件による
❸人の手や足などの部位だけでも検知可能
❹カメラは単独で20m延長でき、スピーカーと離した設置も可能
❺AC100Vと専用バッテリーの2WAY電源
❻三脚付きの一体型で設置が簡単
❼外部出力で他機器との接続可能

建設現場や倉庫などで、人の接近・侵入を検知

4種類の音声で注意喚起

「立ち入り禁止です。入らないでください。」
「危険区域エリアです。入らないでください。」
「人の侵入を検知しました。」
「危険です。旋回範囲内です。」

AKTIO TOPICS. 4

AKTIOと前田製作所が共同開発

「巻上ワイヤ破断防止装置」付クローラクレーンレンタル開始

新開発の「巻上ワイヤ破断防止装置」は、センサー技術を活用して、ブームとフックの接近を正確に測定し、ワイヤ切断などにつながる危険な状況を検知。既存の巻過検出器に加え、ブーム先端右側面に3つの超音波センサーを取り付けて別回路でフックの接近を検出する二重安全システムとなる。巻過検出器はブーム先端から400mm、超音波センサーは350mmでフックの接近を検知。通常は巻過検出器が先にブーム操作を停止するが、巻過検出器が作動しない場合、超音波センサーによってブームの伸長とワイヤの巻き上げを停止させる。これにより、クレーン作業の安全性が高まり、事故防止に役立つ。

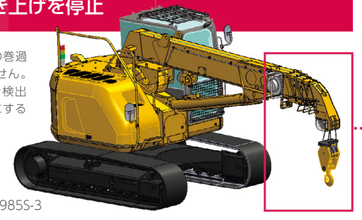
特長

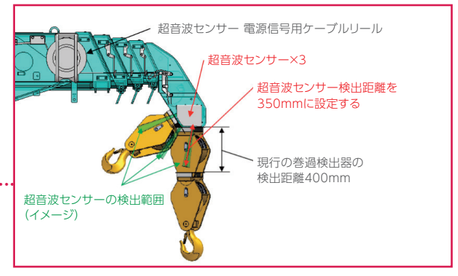
❶万が一、巻過検出器が作動しなかった場合でも、超音波センサーがフック接近を検出
❷ブーム右側面に3つの超音波センサーを取り付け、3つの内どれか1つでも反射波を検出すればブームの伸長と巻き上げを停止
❸どのブーム角度でも、3つの超音波センサーがフックの接近に反応

ブーム先端の超音波センサーがフックの距離を正確に測定し、ブーム伸長とワイヤ巻き上げを停止

※「巻上ワイヤ破断防止装置」は、既存の巻過検出器の代わりになる装置ではありません。通常は巻過検出器にて巻き過ぎ状態を検出します。したがって巻過検出器を無効にすることはできません。

■「巻上ワイヤ破断防止装置」付クローラクレーン対応機種
型式:CC1485S-1／CC1485S-3／CC985S-3





AKTIO TOPICS. 5

商品コード:DZ6／DAB

橋形・天井クレーンの製造・修理・レンタル事業を拡充

AKTIOは、2025年1月にクレーンの製造・修理等で実績のある日本メンテナンス株式会社を吸収合併し、橋形クレーンと天井クレーンの修理・設計・製造・組立指導を一気通貫して行える体制を確立した。

橋形クレーン

2.8tの小型から50tクラスの超大型まで保有し、現場に合わせてカスタマイズしてレンタルが可能。大規模プロジェクトや複雑な工事現場で大きな価値を発揮する。

天井クレーン

特長

「大深度」
地下深くまでの吊り上げや吊り下げ能力

「大容量」
重い吊荷の運搬能力

「高速化」
ホイスト巻き上げの速さ

AKTIO TOPICS. 6

「AKTIO防災セット」販売キャンペーンを実施中

2025年9月30日まで!

AKTIOは、大容量46Lリュックに厳選した防災グッズをたっぷり詰め込んだ「AKTIO防災セット」をお得に購入いただけるキャンペーンを実施中。近年、地震や台風、豪雨などの自然災害が頻発化・激甚化・広域化しており、災害への備えは家庭でも事務所でも重要。この機会にぜひご検討を。

「AKTIO防災セット」のポイント

ポイント❶ AKTIOオリジナルセット
基本セット+役立つ作業用品など42点。厳選を重ねた充実のオリジナル構成。

ポイント❷ 食品が充実
人気のアルファ米シリーズに加え、ハンバーグ・豚汁と、間食用にライスクッキーまで入った充実の内容。

ポイント❸ リュックは大容量の46L
42点を入れてもまだスペースがあり、必要に応じて防災グッズを追加可能。

詳しくはこちら▶

AKTIO ACTIVITIES

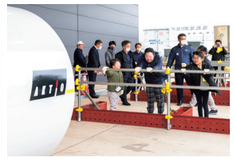
さまざまなプロジェクトや社会貢献活動をご紹介していきます。

大阪DLセンターで小学生向けイベントを実施

「アクティオ ATC ECO EXPO」を初開催

AKTIOは、おおさかATCグリーンエコプラザが主催する小学生向けイベント「ATC ECO EXPO」に協力し、2025年3月、アクティオ大阪DLセンターにて「アクティオ ATC ECO EXPO」を初開催。子ども45名と保護者60名が参加した。本イベントでは、はじめにAKTIOの事業内容や、建設機械レンタルが業界や社会にどのように貢献しているのかを紹介。その後、SDGsの観点から注目されているバイオディーゼル燃料の作成体験や、バックホーをはじめとした重機との記念撮影、大型ファンを使用した強風体験など、子どもたちが楽しみながら建設業界について学べるプログラムを実施した。さらに、建設現場の「省人化」に貢献する先端技術の紹介として、ドローンなどの見学も行った。

バイオディーゼル燃料の作成体験



大型ファンによる強風体験

参加した児童のコメント

バイオディーゼル燃料を作る体験では、天ぷらのにおいがして不思議でした。自分が混ぜた燃料で発電機が動くのは、とてもすごいと思いました。工場には、自分の知らない機械がたくさんあり、操縦のレバーの位置など実物を見ることができて楽しかったです。

AKTIO
2025年　AKTIO　No.34
発行　株式会社アクティオ　東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルヂング7F　TEL (03)6854-1411
編集制作　株式会社ジェイツ・コンプレックス

＋ 今回のテーマ

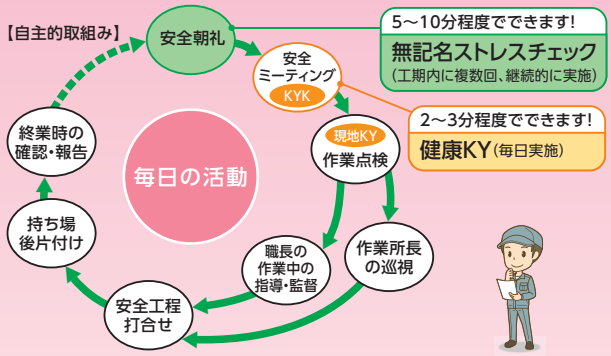
建設現場におけるメンタルヘルス対策

日頃の安全対策に役立つ情報をご紹介!
一人ひとりがしっかりと意識を持って、安全な職場を実現していきましょう。

メンタルヘルス対策の推進

厚生労働省「労働安全衛生調査（実態調査）」によると、日本では8割以上の労働者が仕事に関するストレスを感じており、うつ病や不安障害などのメンタルヘルス問題が原因で休職するケースも増えています。メンタルヘルスが悪化すると、集中力の低下、睡眠障害、イライラ感、場合によっては頭痛や胃痛などの身体的な不調につながることもあります。
建設工事従事者の不安全行動が招く労災事故の背景には、少なからず不眠・疲労等の因子が関連しているケースがあります。慢性的な睡眠不足や高ストレスの状態が続くと、体内のホルモンバランスが崩れ、脳血流が低下し認知機能に影響を与えることが知られており、「不安全行動」防止の観点からもメンタルヘルスの視点を取り入れることが大切です。そこで今回は建設現場で進めるメンタルヘルス対策「建災防※方式健康KYと無記名ストレスチェック」についてお伝えします。
※建災防＝建設業労働災害防止協会

安全施工サイクルを活用したメンタルヘルス対策



◎健康KY

個人の未然防止対策として実施する「健康KY」は、KY活動（危険予知活動）において睡眠、食欲、体調に関する3つの問いかけを職長から各作業員に毎日繰り返し行い、日々の体調の変化を把握する取り組みのこと。

監督者からの呼びかけ
- ・よく眠れたか?
- ・おいしく食べたか?
- ・体調はよいか?

■問いかけ時に見るポイント
- ☑シャンとしているか?
- ☑イキイキしているか?
- ☑ダラダラしていないか?
- ☑ハキハキしているか?

監督者の判断・措置 →状態がよくない、心配なことがある場合、結果を所長等へ報告

報告を受けた作業所長等は、
直ちに相談機関等へ紹介した方がよいと判断できる場合を除き、
より詳しい健康状態を確認するため「睡眠スコア」を実施します。

この一週間の睡眠について
1. 寝つくまでに30分以上かかることが、時々ある。
2. 毎日のように、寝つきが悪い。
3. 夜中に目が覚めることがあるが、再び寝つける。
4. 夜中に目が覚め、寝床を離れることが多い。
5. 普段より早朝に目が覚めるが、もう一度寝る。
6. 普段より早めに目が覚め、そのまま起きていることが多い。

あてはまる項目：1,3,5＝各1点、2,4,6＝各2点で加算、なしは0点
総点数が0～2点：OK　3点以上の場合：さらに不眠の原因やストレス状況、体調と気分の不調について確認する必要あり

総点数3点以上の場合、事業場へ連絡、相談機関等を紹介します。

◎無記名ストレスチェック

組織の未然予防として行われるのが「無記名ストレスチェック」です。安全朝礼等、現場に従事する元請社員、作業員全員が集合する場で一斉に実施するもので、あくまで無記名で行うことにより、個人を特定せずに職場環境改善のために役立てます。

ストレスチェックで現場全体の働きやすさを「見える化」

●無記名ストレスチェックの実施
●集団分析
無記名ストレスチェック実施者は、建設現場用の集計分析ツール（建災防版無記名ストレスチェック実施プログラム）を用いて集団分析を行います。

現場のストレスをやわらげて「安心・安全・快適」に

●集団分析結果に基づく職場環境改善
計画 → 実施 → 評価

工期内に複数回、継続的に実施します。
こうした取り組みを踏まえて、職場環境の改善までしっかりつなげていくことが大切です。

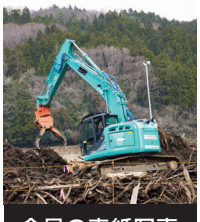
また、建災防の調査で「過去1年間において労働災害につながるようなヒヤリハット体験」があったと回答した建設工事従事者は約6割となり、高ストレスや不眠の方々のヒヤリハット体験リスクは、そうでない人より1.2～2.0倍高いことが明らかになりました。

建災防方式「新ヒヤリハット報告」は、事故・災害に至る前に回避できた能力（レジリエンス能力）を向上させる新たな取り組み。メンタル面の対策も含めた新ヒヤリハット報告を取り入れることも職場環境の改善にプラスになるでしょう。

編集後記

前々から丁寧な暮らしをしよう！と思っており、今年はできることから少しずつ取り組んでいます。
1つ目は、「部屋に花を飾る」です。四季折々の花を飾ることで、色鮮やかで部屋も明るくなりますし、家に帰って花があるととても癒されます。また、お花屋さんに行く機会が増え、季節の花や知らない花も知れ、好きなフラワーベースを探すのも楽しいです。2つ目は、「水回りをキレイにする」です。より丁寧にこまめにキレイにすると気持ち良く、テンションが上がります！ほかにも、「旬の食材を使ってちょっと凝った料理を作る」「ゆっくりコーヒーを味わう時間を作る」なども行っています。
丁寧な暮らしには、ポジティブ思考も大切とのこと。そこで、今度、試そうと思っているのが、漫画「メンタル強め美女白川さん」に登場する、こころが疲れた時に読むと安心できるカード「秘密の安心カード」の作成です。カード作りのポイントは、①心身が元気なときにポジティブな言葉や褒められた言葉をカードに書いておく、②お気に入りのカードを見つけて手書きで書く、③自分の好きな香りをカードにくぐらせて缶にしまう、の3つです。このポイントを押さえながら、作成してみようと思います！

広報部　成澤



今号の表紙写真

今号の表紙は地震と豪雨で甚大な被害に遭った輪島市で撮影したものです。今でも現地では復旧作業が行われており、日常を取り戻せていない現状がありました。そんな現場で、お客様と共に復旧・復興に努めるAKTIO社員。今号の特集では、AKTIOが災害時に発揮した機動力や団結力について記しました。ぜひご覧ください。

◎掲載内容は2025年4月末時点の情報です。内容は変更となる場合があります。